

認知症作業療法 活動報告（概要）

岩手県作業療法士会では、2019年度より県士会の組織を再編し事務局 地域支援部 地域包括ケア推進委員会 認知症班として活動している。

認知症に関する士会員のスキルアップ（アップデート研修）、一般への啓発活動、行政との連携を中心に活動を実施しています。

また県士会の介護予防に関する班、地域ケア会議に関する班等、関連する部門とも連携をとりながら地域におけるOTの役割について検討しています。

アップデート研修

2018年度は1回の開催となり28名に受講していただきました。認知症班のマンパワー不足があり、なかなか複数回のアップデート研修の開催や遠方地域での開催に難しさがありました。また岩手県は面積が広く、受講者の方も研修参加のための移動にも時間がかかるとの問題がありました。

そこで今年度は地域局（9つの各圏域の地域支部）の協力により支部でアップデート研修を開催できる人員を2019年度は育成し、2020より各支部ごとに実施してもらう仕組みをつくり継続して行えるよう進めています。



認知症啓発事業

・RUN伴2109いわて

岩手県作業療法士会として参加するだけでなく、認知症の人と家族の会 岩手県支部、岩手県長寿社会課との協業でアルツハイマデーの街頭活動（一般の方へのリーフレット配り）も行いました。



行政認知症啓発活動への企画・参加

2017年より盛岡市長寿社会課、地域包括支援センター、岩手県理学療法士会と共同にて介護予防事業実施してきました。

2019年は介護予防（地域支援事業）の高齢者の自立支援を推進するためのツール盛岡市介護予防手帳においての認知機能予防、うつ予防への協力を行いました。

今後の展開

- ・ 県内33市町村では作業療法の浸透は課題が多い。県士会各地域支部連携の強化を図り、各市町村からの声も吸い上げながら多様なニーズに県士会として応えられるよう、人材の育成、企画の充実を図る